

1

高砂ダンスサークル

高砂ダンスサークル副会長
110期2組 今川 静夫
私たちダンスサークルは、毎月曜日の午前と午後、および水曜日の午後の週3回、社交ダンスの練習に取り組んでいます。月曜日午後は市村幸一先生のレッスンを受けています。スタンダードのワルツとタンゴ、ラテンのルンバとチャチャチャの4種目を練習しています。練習はパートナーを交代しながら、また、途中休憩をはさんだり、ワンポイント

高砂ダンスサークル
日時：毎週月・水曜日
月曜10:00～15:00
水曜13:00～15:00
会費：年12,000円

イントレックスを受けたりして、進めています。少人数のサークルですので、和気あいあいと楽しく活動しています。
令和7年度に実施した主な行事は、4月に総会、6月に市村スタジオダンスショーに出演、同じく6月に懇親昼食会を実施、10月に高砂演芸発表会に出演、および看護学生9名の臨地研修受け入れ、12月にダンスパーティーの開催、令和8年2月に泊研修旅行の実施などです。社交ダンスのメリットとしては、①体を動かすことにより、健康の維持・増進に寄与します。②ステップやアマルガメーション(いくつかのステップを連続して組み合わせるもの)を覚えなければならぬので、脳の活性化を図れます。

③男女がペアになり音楽に合わせて踊るので、楽しくなり精神的な効果も期待できます。などがあ、
まさに私たち高齢者にとって、いいこといっぱいです。皆さんも社交ダンスを始めてみませんか。まずは私たちの練習日に見学にお越しください。いつでも大歓迎です。入会も随時受け付けております。ここ数年は会員数の減少に頭を痛めてきましたが、令和6年度からは、わずかながらありますが、入会者が退会者を上回り、増加傾向にあります。明るい兆しが見えてきたといえますが、高齢化や病氣、家庭の事情などで、毎年退会者が多いので、今後の動向が気になります。

0名、計28名です。皆さんも私たちの仲間に加わり、社交ダンスを通して充実したシニアライフを楽しみませんか。ダンスサークル会員一同、皆さんの見学、入会を心よりお待ちしております。

高砂かがやき懐メロクラブ
副会長
111組1組 清水 良子
高砂かがやき懐メロクラブは、八月六日(木)三周年を記念した発表会を開催しました。
開会にあたり、クラブ会長高本昇より挨拶があり、続いて、御来賓としてお越しいただいた、中央公民館館長、田鶴直人様、高砂大学校同窓会会長、泉屋和雄様より、お祝いのお言葉を頂戴しました。その後、会員による懐かしい歌の発表が行われ、日ごろの練習の成果を披露しました。会場からは温かい拍手が送られ、和やかな雰囲気になりました。また、友情出演として高砂フラダンスクラブの皆様

にも華やかな踊りを披露していただき会場から大きな拍手が送られました。三周年の企画として、デュエットコーナーも設けられ、楽しい歌声が会場を盛り上げました。
続いて日頃よりユーモアを交えながら優しく御指導してくださっている、講師、タカマサキ先生による講師コーナーでは、素晴らしい歌声を披露していただきました。
ファイナーレでは、タカマサキ先生が歌う「河内おとこ節」に合わせ、会員と来場者の皆様と一緒に「炭坑節」を踊り、会場いっぱい大きな踊りの輪が広がりました。こうして記念発表会は盛大に締めくくられました。

三周年という節目を迎え、会員一同、これからも歌を楽しみながら親睦を深め、元気に楽しく活動を続けてまいります。

福祉バザー開催について
高砂ボランティア会
115期1組 鳥井仁美
8月1日、2日に開催された高砂大学校同窓会作品発表会の二環として、高砂ボランティア会の福祉バザーが2階第二研修室で行われました。商品は全て同窓会会員の皆様から寄せられた品々で、衣類をはじめ陶器、カバン類、雑貨、装飾品が所狭しと並べられ、格安の値段で販売されました。ボランティア会員は、3日前から商品の仕分け、値付け、衣類をハンガーに掛ける作業などに汗を流して準備しました。当日は、思いの外多くの皆様においでいただき、レジには行列ができるほどの大盛況でした。売り手も買い手も同窓会会員であって、終始和やかな雰囲気の中で進められました。8月1日の午前中には、県知事、市長もご来場くださり、売り場をご覧いただきました。2日間の売上金は予想をはるかに上回り、ボランティア会員の疲れも吹き飛ばすほどの大成功でした。この売上金は、金沢市社会福祉協議会へ「福祉ボランティア基金」として寄付されることになっています。同窓会の皆様のご協力、誠にありがとうございました。

全国に奏者が約千人しかいない草笛に挑戦してみませんか？

高砂草笛愛好会
113期3組 山口茂範
草笛は、庭や野山に生えている草花や樹木の葉っぱ(最近では合成樹脂のバランも使用)をカットして、唇にびつたりと当て、ろうそくの炎をフツと消すように息を吹きかけて音を出す楽器(?)です。

うメロディが流れてきて、その音の出どころをたどっていくと、3階大研修室の向かいの教室に高砂草笛愛好会のプレートを見つけ、覗いてみたのがきっかけでした。入会初日の練習でピーという音が出たのですが、音階を出すことは容易ではありませんでした。藤田会長の指導により、来る日も来る日も家で「ドレミファソファミレド」を繰り返し練習していくうちに、ようやく音程の安定した1オクターブの音階を出せるようになりました。曲でも先輩たちに合わせて演奏ができるようになり、ますます草笛に魅せられ、楽しくなってきました。現在2オクターブの音域に挑戦していますが、私が使うシロタモの葉は季節や採集する木によって、大きさ、硬さや厚みが異なり、正確な音程を出せる葉を手に入れるのに大変苦労しています。

草笛愛好会では、腕試しのため、高砂同窓会の一連の発表会に加え、要請があった公民館などのイベントや介護施設などへ積極的に出向き、演奏しています。全国に1000人ほどの草笛奏者がいるといわれていますが、男性6人、女性4人のメンバーが、草笛に興味を持つ仲間を待っています。ぜひとも入会をお願いします。

令和8年越後の国歴史探訪 白土の湯 岡温泉の旅
太学院OB歴史会(115期1組) 西村和子
梅雨明けを思わせるような炎天下の中、7月9日～10日にOB歴史会恒例の1泊バス旅が、37名の参加で行われました。初日は長岡市の朝日酒造さんの酒蔵見学です。久保田千寿で有名な大きな酒蔵です。皆、それぞれ思いのお酒を試飲し、購入していました。次は、長岡市内の河井継之助記念館と山本五十六記念館を徒歩で移動して見学しました。先にバス内で見学先の説明を受けてから、それぞれを見学しました。越後の風雲児、河井継之助は幕末から維新期に活躍し、長岡の礎を築いた方です。また、「やってみせ、言っ

て聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ」で有名な連合艦隊司令長官だった山本五十六の、それぞれの生き様を改めて知りました。
次に、日本三大火火の一つ、長岡花火が開催される長生橋が架かる雄大な信濃川河川敷を見学しました。長岡花火は有名なもので、多くの方がご覧になったことがあると思います。その近くのがおか花火館で少し休憩しました。とにかく暑くて、水分補給とアイスは欠かせません。今日のお泊まりは、白土の湯で知られる月岡温泉です。3回湯に浸かると美人になるお湯だそうです。
二日目は北方文化博物館本館へ。越後の豪農のお屋敷跡で文化遺産ですが、太広間から観る庭園、30メートルの一本のスギの木で作られている丸く長い桁、パワー

スポーツの御影石、正三角形の茶室・三楽亭など、あまりの凄さに圧倒され、短時間では見尽くせませんでした。
そして、彌彦神社で旅の安全を祈願し、寺泊く越後出雲崎天領の里を見学しました。
今回の旅では、江戸時代初期、佐渡金山で生産された金塊や小判による幕府財政の厳格な管理を知り、河井継之助が長岡藩の財政を立て直し、これからという時に不運にも北越戦争に巻き込まれて長岡藩が没落したことなどが分かり、歴史の無慈悲さを感じた次第です。
暑い、暑いーを連発しながら、金沢駅には予定時間通り18時30分に到着しました。全員が無事に帰ることができたことに感謝します。

OB歴史会
高砂かがやき懐メロクラブ

高砂ボランティア会

高砂草笛愛好会

日時：毎週金曜日(原則)
10:00～11:40
会費：年1,000円

彦三館内のどこから、鳥のさえずりのような透明感がある、なんと郷愁を誘

俳句・短歌

石蔭句会

草笛や幼き日目の友の笑み
眠る子をおおぐ団扇の風やさし
魚焼く団扇のさびき隠し味
子の眠り確かめながら団扇置く
宵の街ゆるやかに着て手に団扇
杉江 濤華
中野 吉隆
西川眞素美
表 和子
高松 素子

雪椿句会

草花につがひで飛ぶや夏の蝶
まとまって房のごとくにミニトマト
紫陽花や雨に降られて生々と
羽化を見て蟬の神秘に触れにけり
蟬時雨揺らぐ香煙墓に沁む
宮本順治
幅崎陽子
酒井高三
花岡鉄男
宮本房義

OB短歌会

わが部屋のサツシの引戸びつたりと閉ざしてあれば雨に気付かず
朝焼けの目覚めは夏の風さやか急ぎて庭の草をむしらん
敦賀駅に途中下車して一人旅赤レンガ館にジオラマの町
四の三(しのさん)の針の運びはぎこちなく整頓されぬプラのお針箱
スーパの鮪の解体ショーに行列し求める切り身は極上の味
鍋島千佳子
塩谷さち子
中富重子
宮岸妙子
吉村輝子



高砂草笛愛好会の皆さん



高砂ダンスサークルの皆さん



OB歴史会



高砂かがやき懐メロクラブ



高砂かがやき懐メロクラブ



高砂ボランティア会